

スリックパワーモルタル(パワモル)T字管及び曲り管投入ポイント

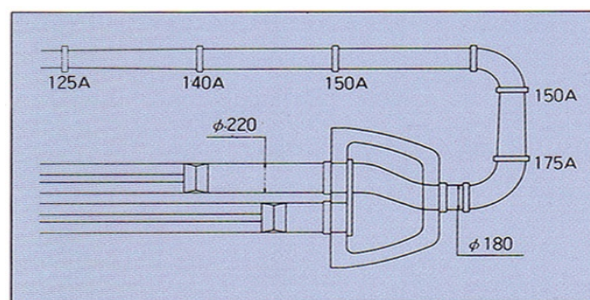
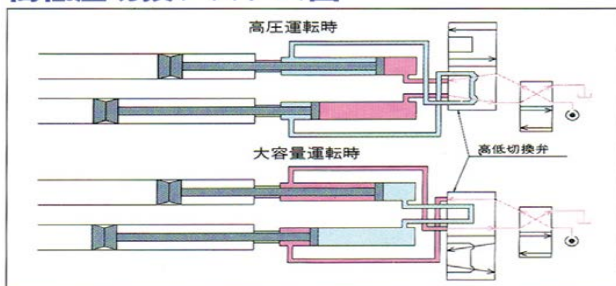
先行水不要の場合



- ① 正転でS管の切換えを10秒以上セットする。
- ② S管が切換わり、10秒セット時なら**9秒**、11秒セット時なら**10秒**、12秒セット時なら11秒で停止(ピストンパッキンがS管寄りの停止状態)
- ③ **S管の右側**から生コンをゆっくり投入し生コンがS管を乗り越えて左側の下方まで来た時、生コンの投入をストップする。
※ウェアプレート、ウェアリングが消耗し、交換直前の場合、T字管及び曲がり管よりパワモルを投入してもウェアプレート、ウェアリングの間からパワモルが漏れてホッパー内に流れ出る恐れのある場合、ウェアプレート、ウェアリングが隠れる位まで生コンをホッパー内に投入していればパワモルを投入しても漏れてこない。
- ④ パワモルをT字管及び曲り管より投入。パワモルが入りづらくなると、逆転を引く。**(リモコンの逆転ボタンを、指で“チョンチョン”で、約1秒位)**
ピストンパッキンがS管寄りに停止しているので8回～10回までは逆転が可能。
S管の切換わり(逆転の引き過ぎ)に注意。投入後は正転はしない。
- ⑤ 生コンを投入、圧送開始。



高低圧切換システム図



先行水使用の場合

【 T字管投入時】

- ① 先行水使用量(パワモル1袋20kgに対し 0.8～1.0 ℓ)
- ② T字管投入口より先行水(パワモル1袋20kgに対し 0.8～1.0 ℓ) を使用袋数分投入
- ③ スリックパワーモルタルを投入する。

【 曲がり管投入時】

- ① 先行水使用量(パワモル1袋20kgに対し0.8～1.0 ℓ)
- ② 曲がり管を切り、先にスリックパワーモルタルを投入する。
- ③ 先行水(パワモル1袋20kgに対し 0.8～1.0 ℓ) を使用袋数分投入